

キッズみんなの日記



キャンプ

私は、土曜日に友だちとキャンプへ行きました。場所は茨城県桜川市です。

次々と発生する季節外れの台風に驚かされることの多かった十月も終わり、澄んだ空が高く、気持ちの良い日が多くなりました。今年も残すところ二ヶ月となり、新しい学年での生活もすっかり板についたみなさんの日記は、進級したばかりの頃に比べ数段に腕をあげています。こちらが驚くほどです。

今月は特に、低学年の成長が目立ちました。ひらがなもおぼつかなかった一年生、二年生がしっかりとした文章でその日の出来事や自分の気持ちを上手に伝えていきます。また、高学年の作文力は大人顔負けです。

同年代の日記には、題材選び、表現方法など日記を書く上でのヒントがたくさん隠されています。是非、参考にしてみましよう。家の人と一緒に声に出して読んでみると、また違った楽しさがあるかもしれませんね。

優秀作品紹介

★日常の「コマ」を生き生きと

むしとり

バッタを二十三匹きとりました。

おともだちといっしょにやりました。とんぼとかたつむりとバッタをつかまえました。

いっばいつかまえて、おしかごのなががいっぱいになりました。

(小一・NRさん)

かごの中がいっぱいになるほど虫をたくさんつかまえたのですね！Rちゃんの満足そうな笑顔が目につくようです。小さな虫取り名人ですね！とても上手に書けています。

まず、はじめに、友だちとトンボをつかまえていくために野原に行きました。トンボはあちこちにとんでいて、なかなかつかまえられませんでした。でも、だんだん慣れてくるとつがわかりました。こつは、トンボの眼の方へ行き、あみをすばやくおろすことです。私と友だちは、じっさいにやってみたところ、三匹きもつかまえました。

でも、すぐに弱ってしまい、にがしてあげることにしました。にがしたあと、上のほうからトンボが手をふっているように見えました。

(小三・YSさん)

逃がしてあげたトンボの羽ばたきを「手をふっている」とは、上手に「たとえ」の表現を使い、またねートンボは、逃がしてくれたSちゃんたちに感謝していたのかもしれないね。

おばあちゃんのたん生日

きょう、おばあちゃんのたん生日でした。

おばあちゃんがくるまでに、お花を買いに行きました。わたしは、ピンクのカーネーションで、おにいちゃんは、きいろのカーネーションでした。帰ってから、ケーキを作りました。シフォンケーキを作りました。あとチョコプレートも作りました。そして、おばあちゃんが来てすぐにカーネーションをわたしました。



「ありがとう。」とおばあちゃんは言ってくれました。その

つぎ、ケーキを食べました。チョコプレートも食べました。おいしかったです。おばあちゃんもよろこんでくれたのでうれしかったな。

(小二・TKさん)

おばあちゃんのために、お花を用意したり、ケーキを作ったり、一生懸命なKちゃんの様子がとてもよく伝わってきます。それは、それはおばあちゃんも嬉しかったでしょうね！

ふくしま

朝六時三十分におきて、ひいおじちゃんのおはかまいりにふくしまへ行ってきました。

私のひいおばあちゃんといひいおじちゃんのお家は、げんぱつの近くにありますが、だから、私のおばあちゃんのお家でくらしています。

自分のお家に帰れなくてとてもかわいそうです。いつか帰れたらいいなあと思っています。

(小二・MNさん)

お墓参りからひいおばあちゃんの話へと上手に書き広げましたね。震災で自宅に帰れないひいおばあちゃんを思うNちゃんの優しさが温かい気持ちにさせてくれる文章でした。

★自分の思いを伝える

ダンスの練習

わたしのクラスでは、来週ハロウィンパーティーをやりま

す。「出し物」と「かそう」をやりま

す。私は、HさんとMさんとダンスをやり

ます。チアダンスのようなダンスなのでポンポンを持っておどります。私は、ダンスを習っていたのでかんたんでしたが、一度



に覚えるのは、ちょっとむずかしかったです。私以外の友達にはチアダンスを習っていたので、かんたんそうに覚えていました。

あと一週間、がんばりたいと思います。

(小四・KYさん)

女の子三人で踊るチアダンスはかわいらしいでしょうね。「理由」+「結果」の形でとてもわかりやすく書けています。最後の一文からは、Yちゃんの意気込みが十分伝わってきます！

★出来事や気持ちを

より細やかに伝える

ハードルで右側だけにケガ

私は、陸上部に入っています。陸上の競技はハードルをやっています。それに今日は陸上部の最終日だったので、新記録を出そうとあせっていました。そして、私の番が来ました。九台だったし、タイムを計るので、とてもきんちようしました。そして、

「位置について、ヨーイ、ドン。」

とピストルの音とともに

走り出しました。スタートも完ぺきだったけど、五台目くらいで一台場所がずれてい

て、いつも三步でいっているのがスピードにものついていし、どうしようと考えながら、結局、四歩で行こうと思ったけど合わなくて転んでしまいました。

でも、あきらめないで最後までやりました。結果は三十秒くらいで記録表には書けなかったけど、最後までやりぬけたのでよかったです。でも、転んだときのケガはものすごく痛かったです。

(小五・YMさん)



「ハードルの五台目にさしかかった一瞬の出来事を上手に切り取っています。アクシデントにも負けず、最後まであきらめなかったMちゃんは立派でした。お大事にね。」

歯

ぼくには今なやみがあります。それは、なかなかぬけてくれない歯があることです。

あとちょっとでぬけそうなのですが、なかなかぬけません。そのせいで、「がりっ。」

と、ぬけかかっている歯がへんなふうに動いて歯ぐきにあたり、ちがっぱい出て、すぐくいたいです。

そして、一週間がたちました。その日の夜ごはんはやきとり。すごく歯が動きそうです。

「あー。」
と、ため息をつきながら、ぼくは心の中でさけびました。

（なんで大好きなやきとりが食べられないんだー。）

そして、がっかりしながらごはんを食べていると、

「がりっ。」

ん：ぬけたー。一しゅん、ごはんの中におおきな石がはいっているのかなと思って口からだしてみたら、それはずっとぬけなくてなやんでいた歯でした。

「やった。」
ぼくはとびはねてよろこびました。

ぬけない時はつらいけど、ぬける時はあまりいたくありませんでした。よかったです。

（小五・HT君）

「誰もが経験する歯が抜けるまでのあの「不快感」を実に生き生きと表現していますね。T君のように、日常のちょっとした憂鬱を題材にすると面白い日記に仕上がりますね！」

ピーマンの肉づめ

私は、お母さんと一緒にピーマンの肉づめを作りました。材料も一緒に買いに行きました。

前にも一緒にご飯を作ろうと話していたけど、お母さんの用事があり、作れなかったの、今回作ることにしました。私はとても楽しみにしていました。お母さんに、

「まだ？」

と私が聞いたら、

「もう始めていいよ。」

と言ったので、私はワクワクしている気持ちを落着かせ、台所に行くとお母さんが、

「ピーマンの種はとっておいだから、まずピーマンに肉を入れてくれる。」

と言ったので、

「OK。」

と言いました。

さっそく作業にとりかかると、肉はピーマンに入ってたけど、焼いているときに、肉がピーマンから出てしまい、ただのハンバーグみたいになってしまったので、次から肉を入れて指で押すようにしたら、ピーマンから肉が出てこなくなったので良かったです。

そして作り終わり、みんなに食べてもらったら、

「おいしいね。」

「がんばったね。」



など言われたので、うれしかったです。こんどは、もっとむずかしい料理を作ってみるにほめてもらえるようがんばります。

（小五・YNさん）

Nちゃんのワクワク感が読み手にも伝わり、楽しくなりますね。「失敗」「工夫」「成功・達成感」と文章の構成もパッチリです。これからお母さんのお手伝い頑張ってくださいね！」

あゆみ

私の学校は、前期、後期でわかれていて、金曜日にあゆみをもらって、中は家でみることにしました。

（早く見たいなー。）と心の中で思っていました。家について、ドキドキしながら見てみると、「できる」より「よくできる」の方が多いし、一年からこの前期まで、「もう少し」がないので安心しました。

私は習いごとで絵の教室に行っているし、四年の時、手芸クラブに入っているからか、図工と家庭科は全部「よくできる」だったのです。

先生は、きびしめにつけたと言っていたので、ちよとうれしかったです。先生にもっと手を挙げて発表したいいいよと言われたので、後期はいろいろなことにちよとせんし、がんばりたいと思いました。

（小五・YMさん）

通知表を見るときの緊張感を思い出します。Mちゃん、頑張りましたね。先生のアドバースを素直に受け入れた点と前向きな決意表明が爽やかな印象の日記です！」

市川市選ばつ

ぼくは、剣道の市民大会で準優勝をし、市川市選ばつを取りました。

剣道で市川市選ばつの練習試合がありました。全国大会にもでている中学校です。団体戦をしました。さすが中学生、歯がたちません。しかし、その中でみんな一勝をしていました。ぼくはくやしくてたまりませんでした。

僕の試合の順番が回ってきて、とてもきんちようしてしまいました。今にもたおれそうです。相手は中学生の大将です。試合中もきんちようしていましたが、

声を出したらほぐれてきました。相手の大将が面を打ってきました。自然と足が動き抜いて胴を打ちました。気が付いたら一本を取っていました。時間がたち、僕が勝ちました。とても快感でした。

（小六・Y君）

市川選抜に選ばれた経緯、相手チームの紹介を簡潔にとでもわかりやすくまとめているですね。Y君の気持ちの変化が生き生きと表現されています。勝ちたいという気持ちや緊張感が文章からひしひしと伝わってきます！」



伊藤先生のおすすめ本

★低学年★

かにむかし 岩波書店

木下 順二 著/清水 風 イラスト

有名な日本民話「さるかに合戦」が木下順二氏の新解釈により、ユニークな絵本になって登場。方言の味わいを活かしたリスミカルな再話に清水風氏ののびやかな活きの絵がぴったりです。

★★中学年★★

じっぽーまいごのかっぱはくしんぼう あかね書房

たつみや 章 著・広瀬 弘 イラスト

台風で大洪水になった翌日、ゴミの山で、ベちょべちょ、どろどろしたぬいぐるみみたいなものを見つけた。家にもって帰ってきれいに洗ってみると…頭のとっぺんがへっこんでいて、鼻のこうらがついている。もしかして、カッパ…。

★★★★高学年★★★★

リージョーの大地 理論社

カレン・ヘス 著/伊藤比呂美 訳

詩人・伊藤比呂美によって訳された日記のような詩、詩のような小説。1934年大恐慌まっただ中のアメリカ・オクラホマ。14才の少女の強靱で無垢な魂の叫び。